



マスコットキャラクター
「たねっこ」

種まき通信



第67号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会
2024.12 〒526-0273 長浜市高畑町316-1 Tel.74-1450

去る十月二十日、田根小グラウンドで、地域づくり協議会体育文化部会による「田ねフェスタ2024」を開催しました。コロナ禍によりしばらく休止していた「遊イングフェスタ」が、昨年からの「田ねフェスタ」に名称変更して復活しました。そして同時に、田ねフェスタの昼休みを利用して、「子ども商店」を出店。子どもたち自身が、企画から運営まで主体的に取り組みました。



9/23、事前に行った企画会議

地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業
「子ども商店」を開店！



子どもたちをひきつけた魅力的な景品の数々

九月二十三日と十月十四日の二日間、まちづくりセンターで事前にしつかりと準備。それ以外にも学校の昼休み時間も利用して当日に備えました。その甲斐あって、開店当日は想定外の大繁盛。大変な盛り上がりでした。この事業は、長浜市の「地域と学校の連携と協働による『生きる力』育成事業」として、市

の生涯学習課や教育指導課、田根小、子ども会田根支部、そして地域づくり協議会が連携・協働して開催したものです。田根地区は、昨年度からこの事業のモデル地域として、市内で唯一指定を受けています。こうした機会を活用して、子どもたちに「生きる力」を育む貴重な体験を提供するとともに、子どもの学びを通じて、住民同士がつながり、地域コミュニティの促進が図られることを願っています。



大盛況の「子ども商店」

パリ・パラリンピック日本代表

清水千浪選手が母校で実技！



先生 VS 清水選手の試合

十一月十四日、パリパラリンピック車いすバスケット日本代表の清水千浪さんが、母校の田根小に来てくださいました。小学校と子ども会田根支部による共催です。

千浪さんと千浪さんの先輩小島さんによるデモンストラクションから始まり、児童が車いすの操作を教えていただいた後、千浪さんと教職員の方々の試合。1対6に

もかかわらず全く歯が立ちませんでした。

その後は児童同士の学年対抗戦。特に、5年生と6年生の対戦はとてもハイレベルな試合でした。

全国に誇る先輩との貴重なふれ合いができました。



学年対抗戦、慣れない車イスを上手に操作

田根小創立百五十周年記念事業

大きな人文字をドローン撮影！



人文字の準備の様子

十一月十六日、田根小で創立一五〇周年記念事業の一環として人文字の事前撮影が行われました。

この日は、朝から恒例の「音読発表会」が開催されていて、児童とともに保護者の方も来校されていました。

この発表会の後、児童や教職員、保護者そして実行委員会のメンバー百三十名余りがお揃いのTシャツを着てドローンによる撮影に挑戦。

この人文字づくり、段取りが九割と考え、事前の準備をしっかりとやってきたおかげで、思っていた以上にスムーズに

できました。撮影された動画は、来年十一月十五日の式典当日に上映する予定です。どうぞお楽しみに。

ご協力いただいた児童や先生、保護者の皆さん、本当にありがとうございました。



右上に見える「150」の文字、微妙に浮いている感じが素敵です。



2024
12月

田根まちセンからのお知らせ

下駄箱を新調しました

別館玄関に新しく下駄箱を設置しました。



令和7年4月1日からの 使用料について

約5年ぶりに市の施設の使用料見直しが行われ、来年4月1日からの田根まちづくりセンターの使用料(基準料)は次のようになりました。

本館 研修室 200円 調理室 300円
作法室 200円 ホール 400円
会議室 200円

別館 トレーニングルーム 400円
多目的研修室 400円

前回の見直しでは変更なしでしたが、今回は調理室以外は値上げとなりました。
市外の方の利用、営利利用、減免についてはお問合せください。

---子ども学び座作品展---

9月28日(土) バッジづくり



11月9日(土) 毛糸でポンポンをつくろう



R6年 12月 まちセンカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

赤色が
休館日です

田根まちづくりセンター

開館時間: 8時30分~17時15分

(夜間使用がある日は夜間もスタッフ在中)

休館日: 月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始

〒526-0273 長浜市高畑町316-1

TEL 0749-74-1450

FAX 0749-74-1445

✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp



気軽に声掛けてください！

堀田雅史の活動報告

● 東京大学フィールドスタディ現地活動



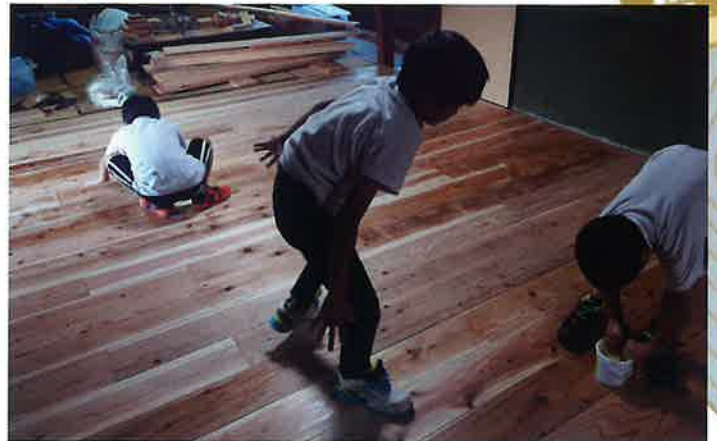
第1回ホームカミングデーは2025年2月22日(土)・24日月に開催予定です。大学生のOBOGが地域とどのように関わるのか、これから企画も検討しますので、アイデアがあれば私までご連絡ください！

11月2日〜4日まで、東京大学フィールドスタディプログラムの第2回現地活動を行いました！本来であれば3連休でしたが、東京大学は4日月・文化の日も授業日とのことで、1泊2日の短期滞在になりました。

今年「田根地区に関わった大学生が、これからも継続的に関わる仕組みづくり」をテーマに活動しており、夏の現地活動からこれまで、他地域の活動や大学の取組を調べていました。

その中で近年、各大学で力を入れている「ホームカミングデー」というイベントを田根地区で開催しようということになりました。「ホームカミングデー」とは同窓会のことで、この地域に関わったOBOGにもう一度来訪してもらおうと企画を進める予定です。

● 続・続・離れのリノベーション



10月頭から始めた離れのリノベーションですが、床貼りがやっと終了しました！ごみ捨てから始まり、約1か月で完成しました。地元の若者にお手伝いをお願いしたり、「やってみたい」という方が現れたり、様々な方のご協力の元、スムーズに作業が進みました！

最後の仕上げにワックスを塗るのですが、ちょうど田根小学校の3年生たちが我が家に来たので、お手伝いをお願いしました！私や妻は、スポンジでちよつとずつ塗っていたのですが、小学生は手で雑巾がけのように塗っていました。突スポンジでやると丸1日かかる作業が、小学生方式だと1時間で終わりました。突天人になると「汚れたくない」という邪念が優るのですが、小学生のような純粋な心を持っていると作業も捗るようです！

まだ、窓の補修や畳の入れ替えなどいくつか作業が残っていますが、完成後は地域の方々も利用できるような空間にしたいと思います！

プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。
趣味は、サッカーとフットサルです！



編集後記

11月上旬から谷口町に慶應義塾大学の滑川くんが、卒業プロジェクト制作のために長期滞在しています。彼のプロジェクトのメインテーマが「田根地区らしさ」ということです。この地区特有の生活様式やモノ・場所を探しているようです。

また、日本全国には千年以上存続する「千年村」というものもあるそうです。田根地区も千年村らしく、なぜ千年も存続しているのか、そこらへんも研究をしていくようです。世の中には色々な学問があるのですね。

滑川くんは関東にちよこちよこ帰りつつも、年明け1月末ごろまで滞在予定だそうです。田根の冬越えを経験する予定ですので、困っていたら助けてあげてください。